

日本語学習者間の協働学習における 観察・振り返り活動を支援する —教育活動観察支援システム FishWatchr を使って—

講師：山口 昌也 氏（国立国語研究所准教授）

近年、ディスカッション練習、プレゼンテーション練習といった、グループでの実習と観察を伴う教育活動がさかに行われています。また、ビデオなどで活動を記録することもよく行われています。その一方で、実習した本人が記録を活用する環境は、十分整っていません。そこで、私たちのプロジェクトでは、観察活動と観察結果の活用を支援するためのシステム FishWatchr を開発しています。このシステムは、（a）リアルタイムで進行する活動や、ビデオで録画された活動に対して手軽にコメントをつけたり、（b）グループでビデオを見ながら各自のコメントを検討するのを支援します。今回のワークショップでは、FishWatchr の研究背景や機能を紹介します。また、ビデオ教材を用いた観察とグループでの振り返りを実際に体験していただきます。

と き： 2016年8月6日（土） 13:00～16:30

※ 講演の後、参加者が直接 PC を操作しながらワークショップを行います。

※ ご自分の PC をご持参いただける方は申込時にお知らせください。

ところ： 北海道大学国際本部3階 LL 教室（1）

定 員： 30 名（申込先着順）

※ 定員になり次第に締め切らせていただきます。

参加費： 無 料

申込先： 鄭 恵先（チョン ヘソン）

E-mail：jung@oia.hokudai.ac.jp, TEL：011-706-8011（直通）

※申込の際には、ご氏名・ご所属・メールアドレスをご記入ください。

oooooooooooo 講師プロフィール oooooooooooooo

山口 昌也（やまぐち まさや）

国立国語研究所准教授。博士（工学）。太陽コーパス、日本語話し言葉コーパス、現代日本語書き言葉均衡コーパスの構築などに従事。合わせて、言語活動を支援するシステムの研究・開発も実施。開発したシステムとしては、本ワークショップで扱う FishWatchr のほか、言語研究用の全文検索システム『ひまわり』、作文支援システム TeachOtherS などがある。